

原発事故による栃木県内への避難者 栃木県北の乳幼児保護者 アンケート報告会 —こども・被災者支援法の行方—

2013年12月15日(日)

13時～16時半 (12時半より受付)

宇都宮大学峰キャンパス
大学会館2階多目的ホール

2011年3月に発生した原発事故の被害は、福島県をはじめ、栃木県を含めた周辺地域において、現在も深刻なまま続いています。

宇都宮大学の福島乳幼児妊産婦支援プロジェクト(FSP)では、昨年度に引き続き、今年度も県内の避難者アンケートと、県北の乳幼児保護者アンケートを実施しました。被災者が現在、どのような問題に直面しているのか、そして今後いかなる支援が必要なのかを明らかにするために、アンケートの報告会を開催いたします。

同時に、2012年に成立した「原発事故子ども・被災者支援法」が抱える問題についても、パネルディスカッションを通して考えます。

プログラムの詳細は裏面をご覧ください。
皆様のご来場をお待ちしております。

●参加費：無料

当日は直接会場へお越しください。

●お問合せ

宇都宮大学国際学部附属

多文化公共圏センター

福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト

〒321-8505

栃木県宇都宮市峰町 350

電話：028-649-5228 (担当：^{さぎさか}匂坂)

Mail：sagih-fsp@hotmail.co.jp

～託児のご案内～

事前お申し込みで、無料託児サービスをご用意しています。ご利用の方は、上記お問合せ先までご連絡をお願いいたします。(受入人数に限りがあります。お早めにお申し込みください。)

託児申込み締切り 2013年12月2日(月)

<主催> 宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター 福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト(FSP)

<助成> 国際ソロプチミスト宇都宮

一般社団法人国立大学協会

日本学術振興会科学研究費挑戦的萌芽研究

福島乳幼児・妊産婦支援プロジェクト (FSP)

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故後、放射能汚染による健康被害の不安を抱えて避難している乳幼児や妊産婦のニーズを把握し、それらのニーズに対応できる団体と連携した体制のもとサポートを行うことを目的として2011年4月に立ち上げられた。昨年度は、栃木県内避難者へのアンケート、栃木県北の子育て世帯へのアンケート、北関東(茨城・栃木・群馬)の避難者の必要な支援について、アンケート等を実施しそのニーズを報告した。さらに、アンケートや聞き取りから得たニーズをまとめ「子ども・被災者支援法」要望書を作成し復興庁へ提出した。

～プログラム～

第1部 アンケート報告会

(13:10~14:20)

- 司会 高橋 若菜 (国際学部 准教授)
- 県内避難者アンケート報告
阪本 公美子 (国際学部 准教授)
匂坂 宏枝 (FSP コーディネーター)
- 県北アンケート報告
清水 奈名子 (国際学部 准教授)
- 質疑応答

第2部 パネル・ディスカッション

「子ども・被災者支援法の行方」

(14:30~16:30)

司会 重田 康博 (国際学部 教授)

終了後、懇親会を開催いたします。
どなたでもご参加いただけます。

～シンポジウム

コメンテーターのご紹介～

- 大山 香 (おおやま かおり)
郡山市出身。「とちぎ暮らし応援会」の訪問支援員、「栃木避難者母の会」代表。宇都宮市在住。
- 手塚 真子 (てづか まこ)
「那須塩原放射能から子どもを守る会」代表。那須塩原市在住。
- 西川峰城 (にしかわ みねぎ)
那須野が原の放射能汚染を考える住民の会代表。那須塩原市在住。
- 森田 省一 (もりた しょういち)
双葉郡榎葉町出身。「那須塩原放射能から子どもを守る会」副代表。那須塩原市在住。
- 栃木県議会議員 (予定)

キャンパス内マップ (会場・大学会館)



お車でお越しの方

栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学正門 にナビゲーションを設定ください。キャンパス内に駐車場があります。

交通機関でお越しの方

●バス

東野(とうや)バス(乗車時間:約 15分)

行先:真岡(もおか)、益子(ましこ)、海星学院、清原球場行など

バス停:JR 宇都宮駅西口バス乗り場 14番、東武宇都宮駅バス乗り場

下車するバス停:宇大前

JRバス(乗車時間:約 15分)

行先:清原台団地、清原球場、祖母井、茂木行など

バス停:JR 宇都宮駅西口 バス乗り場 3番

下車するバス停:宇大前

●タクシー JR 宇都宮駅東口乗り場(乗車時間:約 5分)